

第8期豊能町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（案）に対するパブリック・コメント及び町の考え方

ご意見ご提言等の内容	町の考え方
<p>1. 公共交通の充実</p> <p>健康寿命を延ばし、高齢者が元気で暮らしていただけるには、何よりも、世間とのかかわりを持ち、自分で動ける環境が大切です。</p> <p>高齢化に伴い、運転免許証の返却をされる人が多くなっています。「世間とのかかわりを持ち、自分で動ける環境」を維持するには、「公共交通の充実」が必要です。</p> <p>公共交通を維持し、充実することを求めます。</p>	<p>1. 本町において、公共交通のあり方は重要な課題の一つであると認識しております。ご意見について関係部署と情報を共有し、豊能町地域公共交通会議において検討を重ねてまいります。</p> <p>本計画においては、「おでかけくん」の車両を活用した外出支援事業について引き続き推進していくこととしており、43 ページ「●外出支援事業」の項目に記載しています。本文では、内容がより伝わるよう、事業の趣旨について説明を加えました。</p>
<p>2. 行動（出歩き）しやすい環境づくりを</p> <p>① 公園、道路等の整備を</p> <p>気軽にかけられる公園や道路の整備はぜひとも必要です。いま散歩道に樹木が生い茂ったり、樹木の根で盛り上がりすぎて歩行を妨げているところがあります。</p> <p>気軽にかけられることは、健康維持に大切です。公園、道路等の整備を計画に盛り込んでほしいと思います。</p> <p>② 図書館等文化施設の充実を</p> <p>体を動かすと同時に、文化、芸術に接することも健康寿命を延ばすには重要なことです。図書館、ユーベルホール等文化施設及び公民館、老人福祉センターの維持、充実を図ってください。</p>	<p>2. 高齢者が地域で活動しやすい環境を整えるよう、本計画においては高齢者の見守りやバリアフリー、交通安全、防犯への取り組みを進めるほか、介護予防などに取り組む「通いの場」をはじめとする各種介護予防事業、生涯学習や地域活動の場の提供を促進することとしています。</p> <p>① 道路や公園・緑地、街路樹の整備、維持管理等に関しては、平成31年3月に策定した「豊能町都市計画マスタープラン」において方針をお示ししており、この方針に沿って施策を進めてまいります。</p> <p>② 文化施設の維持・充実については、関係部署と情報を共有し、豊能町公共施設再編検討委員会において検討を重ねてまいります。</p> <p>老人福祉センターの運営については、老人福祉センターのあり方検討委員会での議論を踏まえ、介護予防などの機能を果たす施設としての運営を進めていくこととし、48 ページ「①介護サービ</p>

ご意見ご提言等の内容	町の考え方
<p>③ 社会活動の参加に援助を</p> <p>NPO法人はじめ様々な文化、社会活動が営まれています。49ページ「支え合い、助け合える地域づくりの推進」でも触れられていますが、ぜひ、支援を強化して継続できるようお願いします。</p>	<p>スの適切な提供に向けた基盤整備」に記載することとします。</p> <p>③ 今後、医療や介護、様々な支援が必要な高齢者が増加する一方で、担い手不足がますます深刻化する中、地域での支え合いはさらに重要なものとなっていくと考えており、本計画の方針に沿って活動支援、体制強化に努めてまいります。</p>
<p>3. 第4章 基本目標1 (1) ① a. 多様な主体による生活支援活動の推進 (P43) の第2項について</p> <p>「第二層、第三層の生活支援コーディネーターを育成します。」となっているが、生活支援コーディネーターの育成が目標に設定されていることに違和感を覚えます。この目標は下記のように具体的な推進取り組みを記載すべきです。</p> <p>生活支援団体、老人クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、地域包括支援センターおよび生活支援コーディネーター等で構成される「生活支援・介護予防サービス協議体」を組織し、本町の地域特性に応じた高齢者の生活支援体制の整備について協議します。</p>	<p>3. 高齢者の生活を支える多様な生活支援体制の整備・充実のためには、ご意見のとおり地域の関係団体が協議をしながら進めていくことは重要であると認識しています。</p> <p>今後、生活支援体制の整備を進めるにあたり、まずは地域の資源やニーズの把握を行う生活支援コーディネーターの役割を充実させ、より深く地域とのかかわりを持ちながら取り組みを進めたいと考えています。</p> <p>そのため、文言の修正は行いませんが、協議体における協議を念頭におきながら取り組んでまいります。</p> <p>なお、協議体の設置については、56ページ「③生活支援・介護予防サービス協議体」において記載しています。</p>
<p>4. 第4章 基本目標1 (1) ① a. 多様な主体による生活支援活動の推進 (P43) の第2項について</p> <p>生活支援・介護予防サービス協議体で検討するテーマは、「外出支援」として追記することを提案します。</p> <p>その根拠は、ときわ台老人クラブ寿楽会の生活支援活動「助け愛ネット」の2015年から2020年までの6年間活動実績の第1位は、外出支援で全体の41%を占めていることによります。</p>	<p>4. 協議体で議論するテーマは、あらかじめ決められたものではなく、生活支援コーディネーターが把握した地域ニーズに基づいて行うため多様なものとなります。</p> <p>「外出支援」についても重要なテーマの一つとは理解していますが、限定的ではありません。</p> <p>そのため、文言の修正は行いませんが、ご意見の内容も踏まえ、取り組んでまいります。</p>